

元気玉

JTSU JR 東日本輸送サービス労働組合 池袋駅分会
REAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION KEBUKURO-114

2022年 2月 9日

No.08

「過半数代表者」について考えよう！

1月25日、業務掲示板に東京支社総務部長名で「過半数代表者の選出について」掲出されました。また、2月8日には池袋駅長名で、「選出の目的」や「立候補者の受付期間及び方法」など、具体的に過半数代表者の選出に関わる書面が掲出されました。「過半数代表者」についての問題意識について、池袋駅で働く一人ひとりが考える必要があると思います！

掲示には、過半数代表者の役割りを「**当社の事業運営上必要不可欠な 36協定の締結や就業規則の変更に関わる職場の意見聴取に応じるなど…**」と書かれています。昨年同様、若手社員が「(誰に投票するのか)わかっているよな!？」と、声が掛けられているみたいですね。なぜ、そこまで圧力を掛けるのか!？それは、**会社が求める「過半数代表者」とは、「選出の目的」に書かれている、労使協定の締結・安全衛生委員会の委員の選出・意見聴取に対して、文句を言わずに印鑑を押す人**ではないでしょうか。間違っはしくないのは、文句を言うことや、締結を妨げるために、私たちが立候補しているではありません！**過半数代表者は、池袋駅で働く全ての「代表者」として、意見や想いをしっかりと会社と議論したうえで、締結・調印できる人がふさわしいと考えています。**

池袋駅で働く者の代表者ですから、自分のことではなく「職場を良くしたい!」と思う人が過半数代表者にならなくてははいけません。そして、池袋駅の代表者を決める選挙ですから、投票する一人ひとりが、その投票に責任を持たなくてははいけません。

この間、若手社員から「誰に投票したかバレしてしまうのではないか」との不安の声が出されています。会社の掲示にも「**投票の秘密の確保は重要であり…**」とあるように、**誰に投票したかわかるようでは、公平・公正は選挙とは言えません!**ですから、投票する一人ひとりが、今後掲示される立候補者の決意表明の内容をしっかりと読んで「**怖がらずに、忸怩せずに、池袋駅で働く者の代表者として相応しい人は誰なのか!?**」を検討し、**投票しなくてはなりません!**

ゆとりある・働きがいの持てる池袋駅にするために、

正しい行動・投票をしよう!



「安全第一・健康第一」で「安心・ゆとり・働き甲斐」のある
風通しの良い健全な職場を全組合員で創造しよう!

